

議会だより

69

のとちょう

2022. 8. 1

縄文人も見た 満天の星

低所得の子育て世帯の臨時特別給付金を補正 6月定例会議・4月会議	2-3
能登町選挙公報発行に関する条例の制定について議論 6月定例会議	4
一般質問	5-12
議案をチェック	13
常任委員会レポート	14
主な議会活動	15
まちかどインタビュー 編集後記	16

議会負担金、 する特別給付金などを補正！

るほか、低所得の子育て世帯を支援する子育て世帯生活支援特別給付金などを補正した。

4年度一般会計の予算総額は150億4380万1千円に。



主な補正予算

○総務費

- ・参議院議員通常選挙費でポスター掲示場の区画数の追加

○民生費

- ・低所得の子育て世帯を支援する子育て世帯生活支援特別給付金の追加

○衛生費

- ・トキの放鳥受け入れ実現に向けての協議会負担金を計上

○農林水産業費

- ・能登栗集荷施設の機械設備更新における助成費用を計上
- ・令和3年産の米価下落の影響を大きく受けた農業者に対して補助金を計上
- ・県営ほ場整備事業において藤ノ瀬地区の工事負担金を追加
- ・沿岸沖合漁船員就業対策事業として免許取得助成費を追加計上

○教育費

- ・ICT活用指導力強化事業を計上し、学校保健特別対策事業で感染症対策費を計上

令和4年第4回能登町議会6月定例会議を6月6日から6月16日にかけて開催し、町長提出議案9件、諮問2件が提出された。

議案は令和4年度一般会計補正予算のほか、条例改正や請負契約の締結などであり、各常任委員会により審査し全議案を可決した。また人

事案件の諮問については、初日に採決し適任とした。

6月14日には8人の議員が町政全般について一般質問を行った。

最終日、議員提出議案として、能登町選挙公報発行に関する条例案を上程したが否決した。

能登地域トキ放鳥受入推進協 低所得の子育て世帯を対象と

国特別天然記念物トキの放鳥受け入れ実現に向けて発足する協議会への負担金を計上す

一般会計補正予算に、2980万1千円を追加して、令和

その他の主な議案

請負契約の締結について

- ・令和4年度旧内浦庁舎解体工事 西中・須美矢 特定建設工事共同企業体
- ・令和4年度旧瑞穂小中学校解体工事 須美矢建設 株式会社
- ・令和4年度統合保育所整備事業能登町立認定こども園ひばり保育所解体工事 株式会社 鼎建設

人権擁護委員候補者の推薦

畑中 彰治 氏（国光） 新谷 信之 氏（不動寺）

議会提出議案

条例の制定

○能登町選挙公報発行に関する条例の制定について（※詳細は4ページに掲載）

4月会議

令和4年第3回能登町議会4月会議を開会し、人事案件3件についていずれも可決した。

能登町副町長の選任

田代 信夫 氏（崎山）



能登町固定資産評価審査委員会委員の選任

小坂 智 氏（松波）

能登町教育委員会委員の任命

濱高 芳美 氏（鵜川）

令和4年第3回4月会議の審議結果

（賛否の分かれたもののみを掲載します）

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果	議員名	吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷眞一
可決	議案第39号 能登町副町長の選任について	×	○	×	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○

能登町選挙公報発行に関する条例の制定について討論！

6月定例会議

6月定例会議の最終日に、選挙において候補者の意志を公平に表明する文書を発行すべきであると「能登町選挙公報発行に関する条例の制定について」を議題と

し、吉田義法議員ほか3名の連名で議員提出議案が上程された。2名の議員から賛成討論、1名の議員から反対討論があり採決の結果、原案は否決となった。

反対討論

田端雄市議員



県内19市町の内、15市町が条例を制定済みであるが、各市町の制定時期は昭和50年代で、珠洲市に至っては昭和29年に制定されている。これに追隨しての単なる制定には意味がない。また期日前投票制度が導入されたのは、平成15年からであり、ライフスタイルが変わり期日前投票の投票率も上がってきている。

町民への選挙公報の配布は投票日の前とあるが、多くの町民が投票を終えた状況で選挙公報が届くのでは公平公正な選挙が担保されない。



賛成討論

馬場 等議員



選挙公報発行に関する条例の制定が必要かどうかは有権者の目線で考えるべきだ。選挙公報の発行が義務づけられていない地方議会議員選挙においても、有権者が投票先を決めるための有力な情報として選挙公報の発行は必要不可欠であると考えている。

選挙公報が発行される初めての選挙では、配布される日が重要な関心事となるが、4年後の選挙では候補者の理念、政策が4年間の議会活動の実績と照らし合わせて検証することができる。

選挙公報発行に関する条例の制定は、能登町議会においては通年会期制、議会基本条例とともに議会改革の一環として必要であり、早急に現議会の責任で行うべきと考える。

鍛冶谷眞一議員



一番身近な町議会議員を選び、政治を託すことにおいて、顔写真や年齢などのほか、その人がどんなことを考えて臨んでいるかを知る機会をつくるだけです。特に高校3年生にとっては初めて政治に参画する第一歩であり公平な選挙のあり方を求める。

令和4年第4回6月定例会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載します)

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果	議員名														
	議案	吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷眞一
否決	発議第4号 能登町選挙公報発行に関する条例の制定について	○	×	○	×	×	×	○	×	—	×	×	×	×	○

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

6月定例会議の一般質問（14日）



馬場 等 議員

問 洪水ハザードマップの作成時期は

答 令和5年度から作成予定

問 能登町管内の二級河川では、町野川以外は洪水ハザードマップが作成されていない。残りの二級河川については、いつ頃の作成予定となるか。

答 町長 石川県は令和5年の取水期前までに、二級河川全て、浸水想定地域図を作成する予定と聞いています。それを受けて、能登町は令和5年度から残りの二級河川の洪水ハザードマップを作成する予定である。

問 二級河川の緊急浚渫推進事業は

答 九里川尻川と白丸川の2河川

問 石川県の緊急浚渫推進事業計画に、能登町管内の二級河川は入っているか。

答 町長 石川県の計画では、二級河川の九里川尻川と二級河川の白丸川が入っている。

問 また、普通河川の緊急浚渫推進事業の進捗状況はどうか。

答 町長 石川県の緊急浚渫推進事業は、令和2年度、令和3年度の2年において11河川で約3720立方メートルの堆積土砂の除去と、約1000平方メートルの支障木の伐採を完了している。

問 その他質問

予約制乗合タクシーの利用状況は

答 企画財政課長 昨年10月1日よりお帰りが1便増え、今年4月1日より1人片道700円の一括料金となっている。現時点での利用状況はどうか

答 企画財政課長 お帰りの便の増えについては、利便性が良くなり好評であると聞いている。

1人片道700円の一括料金については反響が大きく、利用人数については、

新料金となった本年4月1日から5月末までの2か月間で481名の利用があり、昨年同時期と比べて約2倍の伸びとなっている。

お帰り便乗り場を増やさないか

利用人数が増えて来ると、お帰りの便の受付業務は宇津総合病院内の院外処方せん窓口だけでは難しくなる。そこで、バスやタクシーの便の利便性も良い能登町役場をお帰りの便の乗り場として、また受付業務も行う場

所として追加できないか。

答 町長 受付業務を行っている宇津総合病院内の院外処方せん窓口では、現在のところ窓口の混乱は無いと聞いている。乗降場所についてはお出かけ便を含め、さらなる利便性の向上に向けて利用者のアンケート等を行い、町の地域公共交通協議会及び関係者と協議検討したい。

予約制乗合タクシー事業の周知を

予約制乗合タクシー事業は、町民にとっても、タクシー事業者にとっても大事な事業である。事業内容の周知徹底を図るべきだ。

答 企画財政課長 「広報のと」への記事の掲載や社会福祉協議会、珠洲警察署能登庁舎、役場支所窓口にて予約制乗合タクシーの案内チラシを設置している。また、各種団体の総会等に出向き事業の説明やチラシの配布も行っている。そのほかタクシーの車内に案内カードの掲示、配布も行っている。





吉田 義法 議員

問 副町長人事を問う

答 県からの派遣の考えはなかった

問

①町長は町職員時代の副町長、教育長人事をどう見たか。その人事に対する世間の声を感じたか。また、町長となり、副町長となる人材を県から派遣してもらう考えはなかったか。

②田代副町長に望むこと、期待していることは何か。

③副町長は町職員時代の副町長、教育長人事をどう見たか。副町長としての抱負、所信は。

答 町長

①職員時代の副町長、教育長の人事について、特に意見はない。世間の声も聞いたことはない。町長となり、副町長を県から派遣という考えもなかった。

②町政の発展のために、私のアクセルとなりプレイヤー役となり支えてほしい。また、色々なアイデアを期待している。

答 副町長

③副町長、教育長の人事については町長と同じ考えだ。町長が進める重点課題の取組を補佐し、新型コロナウイルス対応をはじめ、第1次産業の振興、福祉の充実、定住人口の増大、公共施設等総合管理計画等を推進する。また、デジタル環境を整備し町民の利便性の向上と業務の効率化を図る。職員には町民や来客者に対し笑顔で接してほしい。不定期だが自ら内浦、柳田各総合支所に出向き町民の声に耳を傾け、接点を持つ。

問 旧役場跡地利活用計画を示せ

答 2億円掛け全天候型広場を整備



旧役場跡地

問

①現在、計画にある、イベント広場とした理由は、跡地利活用検討委員会の答申では複数の選択肢があるが、それらについて熟考したか。

②答申では公民連携による整備・利活用も視野に入れる、とある。企業を対象に公募し有益な利活用法を探るのも一つの方策ではないか。

③イベント広場整備に関わる総予算額は、施設の利用計画が示されていないため費用対効果が予測できない。新規の施設整備を行う際は、費用対効果が大きく得られる計画であるべきと考える。

答 町長

①検討委員会は「人々が集まり交流できる場所」「人々が安心して憩える場所」「町の振興に資する場所」の3つの基本方針と建物を建てる場合と建てない場合の2案を示した。初期投資、維持管理費を考え、建物を建てない公園、広場の案を選択し、天候に左右されない全天候型の広場整備を計画した。

針と建物を建てる場合と建てない場合の2案を示した。初期投資、維持管理費を考え、建物を建てない公園、広場の案を選択し、天候に左右されない全天候型の広場整備を計画した。

②広場の整備は公益性、公共性を伴うので町が事業主体として進める。整備後はいやさか広場と一体とした各種イベント等の利用を想定している。町内外、官民間わず情報を発信する。

答 ふるさと振興課長

③広場整備予算額は約2億円。年間利用者数は2万6000人を見込む。(あばれ祭り7000人、寒ぶり祭り8000人、その他イベント2000人、日々の利用9000人)新たな利活用についても立案に努める。



市濱 等 議員

問 県道能都内浦線の安全確認が必要

答 定期的に目視で状況を確認



田の浦越波対策工事

問

羽根、田の浦から真脇トンネルの区間、山が海岸に迫り崩落の危険がある。点検確認が非常に大切だ。また、つくモール周辺道路は、交通安全上、早急に拡幅が必要だ。県からどのような対策計画を聞いているか状況を聞く。町長は用地交渉に向いた経緯があるか聞く。

答 町長

田の浦工事は越波対策工事だ。真脇区間は現在も用地交渉中。つくモール周辺道路等、他の道路状況に対しては町が必要と認めた時に要望していく。

問 防災意識の高揚策を聞く

答 広報、出前講座等で呼びかける

問

能登地方を震源とする地震が多発している。高齢者、子供たちに思いやりのある指導啓発対策は何か聞く。教育委員会と連携し防災作文コンクールなど計画し防災意識高揚、啓発すればどうか。防災組織率が上がらない、互近助力が発揮できるよう組織の最小化を諮る考えはあるか。

答 町長

出前講座については、広報において記事を掲載し、今年度すでに4回要望があった。有線放送も活用して啓発する。県が毎年ポスターコンクールを実施している。町では予定がない。現在の町会単位が最良と考える。組織の細分化は考えていない。



防災訓練の様子



田端 雄市 議員

問 臨時交付金で事業などを支援せよ

答 適切な時期に報告する

①物価高騰で、給食費の食材の値上げが予想される。コロナ禍で、子育て家庭は、厳しい状況にある。保護者の負担増を回避するため、食材費の増額分を交付金により支援すべきだ。

②町の基幹産業であるイカ釣り漁業では、燃料費の高騰により、前年と比べると20円／リットル高となつて、1000万円の経費増となる。

事業継続が困難な状況であり、国の補助金に加えての支援を要望する。



出航するイカ釣船

答 町長

①物価の上昇により、200円から400円の値上げが試算されている。しかし、保護者の負担増となるようなことは考えていない。負担の回避のため、どのように支援するか、考えているところである。

②イカ釣り漁業者を含め、原油高騰による漁業者の負担軽減を図ることは、水産業の町として、事業の継続支援や水産物の安定供給の観点からも必要である。国の支援制度の利用状況も鑑み、検討していく。

問 若年者の支援体制を前進させよ

答 追加人材の配置を行う

①

コロナ禍で、若年者の課題が浮き彫りになってきた。「生理の貧困」については、入手に困難を感じた女性が12人に1人との調査が出ており、全国的な支援が広がっている。また「ヤングケアラー」と言われる、家事や家族のことを日常的に行っている子供らがいる。調査によれば、小学6年生の約15人に1人が世話をする家族がいるとある。本町の実態について、また今後の取り組みを示せ。

答 町長・教育長

本町では、現在のところ確認できていない。健康福祉課では、関係部署と情報を共有し、対応できる体制をつくっている。学校では、保健室に生理用品を備え、気軽に利用できる工夫をしていく。「ヤングケアラー」については、県が実態調査を実施することに合わせ、判断したい。現在、該当する人は、確認できていない。今後もスクールソーシャルワーカーなどを活用し、きめ細かい対応をしていく。

②その他質問

オンライン面会に助成を望む

コロナ禍で、面会ができず、人のつながりが希薄となっている。

互いの確認で、勇気と元気がもたれる。町は、オンライン面会の環境整備に助成をすべきだ

答 町長

現在、町内施設の5か所がオンライン面会を実施している。町は、施設入所の方が元気になる取り組みについて、施設の要望があれば、できるだけ応えていきたい。



鍛冶谷 眞一 議員

問 県道宇出津町野線の 改良に期待

答 事業促進を要望していく

問

町野、柳田、宇出津を結ぶ歴史ある交流道路であった。そして今も珠洲道路、のと里山海道につながる大事なアクセス道路だ。残念ながら急カーブも多く、冬場はスリップ事故も多発するので、山口県議も県に執拗に訴えられたと伝え聞いた。上町立ヶ谷内工区で準備の工事が始まったが、この先どのように工事が進められるのか。

答 町長

県では平成30年から上町の立ヶ谷内から宇出津山分の長坂の「ゆずりレーン」の終わりの延長2キロの区間において道路改良工事に着手し、これまでに測量設計を終え、昨年度から用地買収を進めていると聞く。町としても県に対し早期工事着手を要望していく。



改良予定の県道宇出津町野線

問 普通病棟入院の方との面会を望む

答 主治医の判断で面会も可能

問

「コロナ感染者との面会ができないことは「世界の常識」となっている。ただ普通病棟においては面会があっても良いのではないかと考える。辛い、心細い思いで入院生活を過ごす中で、娘さんやお孫さんの笑顔ひとつで元気になるたよとよく耳にする。公立宇出津総合病院は都会の大病院ではない。地元で親しまれる病院として、心暖かい面会対応を求める。

答 宇出津病院事務局長

当院では入院患者様には「面会禁止」の措置をとっている。オミクロン株の変異株は無症状の場合が多く、もしそんな方がお見舞いで病棟に入ると抵抗力が落ちている入院患者様に感染しクラスターの原因ともなりかねない。感染リスクから入院患者様を守るための苦肉の策である。面会については要望があった場合は、人数や時間の制限はあるが、主治医の判断で許可した例が多数ある。希望される方は看護師を通じて相談願いたい。



公立宇出津総合病院

問 姉妹都市との交流活性化を

答 有効的、効果的に事業を進める



金七 祐太郎 議員

問

姉妹都市交流事業の内容、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた今後の交流の活性化は。

答 町長

それぞれの市町が持つ地理的な特徴、経済的効果、歴史、文化を理解しながら交流を図ることに、相互にとって有効的、効果的な事業を積極的に進めていきたい。

答 ふるさと振興課長

流山市の小学5・6年生を対象とした能登の自然体験学習ツアーを実施。また小林市秋まつり、信

濃町野尻湖花火大会、流山市市民まつりなどに能登町観光協会等が主体となり物産展を行っている。再開されたら積極的に参加する。

答 教育委員会事務局長

流山市へは、能登町児童流山市派遣事業、小林市は、中学生を対象に毎年交互に交流している。コロナ禍の2年間は、中止したが、今年度から実施していく。

答 総務課長

姉妹都市との友好関係の発展のため、5人以上の町民団体が、研修及び視察、交流を行った場合、費用の一部を補助している。金額は、1人当たり小林市が2万円、流山市及び信濃町は5千円である。交流が進むことを期待しているので、グループ、各種団体等で姉妹都市交流を計画している場合は、総務課へ問い合わせを。

問 子供の交流の教育的効果は

答 人間関係の育成につながる

問

流山市児童の自然体験ツアーは、評判がよい。感想では、「また能登に行きたい」保護者は、「子供たちが帰ってから、様々な面で成長した」という意見もあった。子供の時期に交流をすることは、大変有意義なことだと思うが、教育者としてどう思うか。

答 教育長

集団宿泊活動における自然体験や生活体験は、子供たちの主体的な学びの基盤となる自己肯定感を高める。見知らぬ土地でそこに住む人と交流することは、よりよい人間関係の育成にもつながる。

問 その他質問

能登町の食材で給食交流は

流山市おおぐろの森中学校校舎は新築で、多目的ホールの床材には能登町産ヒバ材が使われている。これも一つの姉妹都市交流だ。そこで、アイデアの一つとして、能登牛やイカ等の食材で給食交流ができないか。

答 町長

流山市と話をし、食材提供となったら、町を挙げて協力していく。



給食（イメージ）



流山市 おおぐろの森中学校
(能登町産ヒバ材が使用されている)



河田 信彰 議員



能登高校

問 能登高校の地元入学者の割合は

答 40%台を保っている

問

能登高校存続の取組として始まった「能登高校魅力化プロジェクト」により、町内の中学校からの入学率はどのように推移しているか。

答 ふるさと振興課担当課長

町立中学校からの入学率は、能登高校魅力化プロジェクトが始まる前である平成28年度以前は29・1%、30%を下回る年もあった。

能登高校魅力化プロジェクトが始まった平成29年の入学率は45・4%であり、以降、令和元年

40・7%、令和4年41・0%と、おおむね40%台を保ちながら推移している。

町外からの入学者の割合は、能登高校魅力化プロジェクトが始まった平成29年度から令和4年度までの6年間の平均値で28・2%となっている。

問 まちなか鳳雛塾のリモート授業を

答 能登高で実証実験を行っている

問

鳳雛塾に通いたくても通えない子どものため、リモートで受講できないか。

答 町長

まちなか鳳雛塾と能登高校の寮をリモートで繋いで同じような授業を受講できるように、ICTを活用した実証実験に取り組んでいる。

問 その他質問

地域留学事業の生徒は何人か

答 ふるさと振興課担当課長
令和3年度1名、令和4年度は3名の生徒が通学している。

地域留学事業は、内閣府地方創生推進室が所管

の高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業によるもので、この事業は令和2年度に全国で12校が採択されており、令和3年度より石川県内においては能登高校のみが受入れを行っている事業である。

ソフトテニス留学生は何人いるか

答 ふるさと振興課担当課長

平成30年度生徒数185名、うちソフトテニス部の部員数は31名、うち町外からの部員数は22名。令和元年度生徒数は206名、部員数42名、町外からの部員数36名。2年度生徒数207名、部員数43名、町外からの部員数36名。3年度生徒数192名、部員数36名、町外からの部員数31名。4年度生徒数171名、部員数36名、町外からの部員数27名。

全校生徒に対し、部員数の割合は19・5%、そのうち町外からの部員数の割合は80・8%である。

門前高校のようなアドバイザーは

答 町長





志幸 松栄 議員

問 今後のまちづくりと将来の展望は

答 時代に対応した施策に取り組む

問

① 20年後にどのような能登町を残したいと考えるのか。

② 10年後のまちづくりの目標は何か。

③ 今任期中に取り組もうとしている事業や施策を問う。

答 町長

① 町の最大の課題となるのは、人口減少問題であり、町の創生総合戦略において20年後の人口規模の目標を、約10,000人と設定し各種施策を講じている。

「能登の里山・里海」で培ってきた能登の暮らしを20年後も受け継いで残していければと考えている。

② 10年後も健やかに、安心して暮らせるまちづくりを念頭に置き、能登の里山・里海を活かし、人材の育成と安定した雇用ができる「しごと」をつくり、さらに集まった若い世代の希望に叶った結婚、出産、子育てができる環境をつくることで、町で暮らす「ひと」の流れをつくることを目指している。

必要なところには積極的に投資し、創意工夫しながら、これからの時代に対応した新しい町を創っていきたい。

③ 第1次産業の支援、子育て環境の充実、福祉サービス等の確保について重点的に取り組む。

町民に優しい行政サービスのの実現に向け、デジタル化や関係人口創出事業などに取り組む。さらに町全体の公共施設の在り方についても、継続して取り組む考えである。



水揚げされたブリ





議案をチェック

6月定例会議の議案質疑

閻 吉田義法 議員

トキ放鳥には賛成で放鳥場所も能登町でよいということか

閻 住民課長

この協議会は、能登の4市5町、石川県、12の関係団体で組織され、能登地域でトキを放鳥するよう国に候補地として申請を行うことを目的としている。

今後、国が放鳥地を検討して、能登地域が選ばれた場合には、どこの市町で受け入れるか検討していく。

閻 吉田義法 議員

トキ放鳥で農業被害などの心配はないのか

閻 農林水産課長

まだ正式決定はしていないが、被害は、多少な



りともあるのではないかと被害を最低限に抑えるような施策や方法を検討する。

閻 鍛冶谷員一 議員

旧内浦庁舎、旧瑞穂小中学校、ひばり保育所の解体工事計画の見通しは

閻 企画財政課長

現在、仮契約中であり、入札公告では、旧内浦庁舎は令和5年2月28日、旧瑞穂小中学校は令和4

年12月28日、ひばり保育所は令和4年11月30日の完了予定である。工程関係の詳細は、議決後の本契約後に決定する。



解体される旧内浦庁舎

閻 田端雄市 議員

臨時特別給付金について、歳入は390万円であるのに歳出金額500万円とあるが、その差は何か

閻 企画財政課長

国庫補助金390万円は、子育て世帯の臨時特別給付金事業の補助金の過年度分である。

閻 田端雄市 議員

子育て世帯とは、何歳までか

閻 健康福祉課長

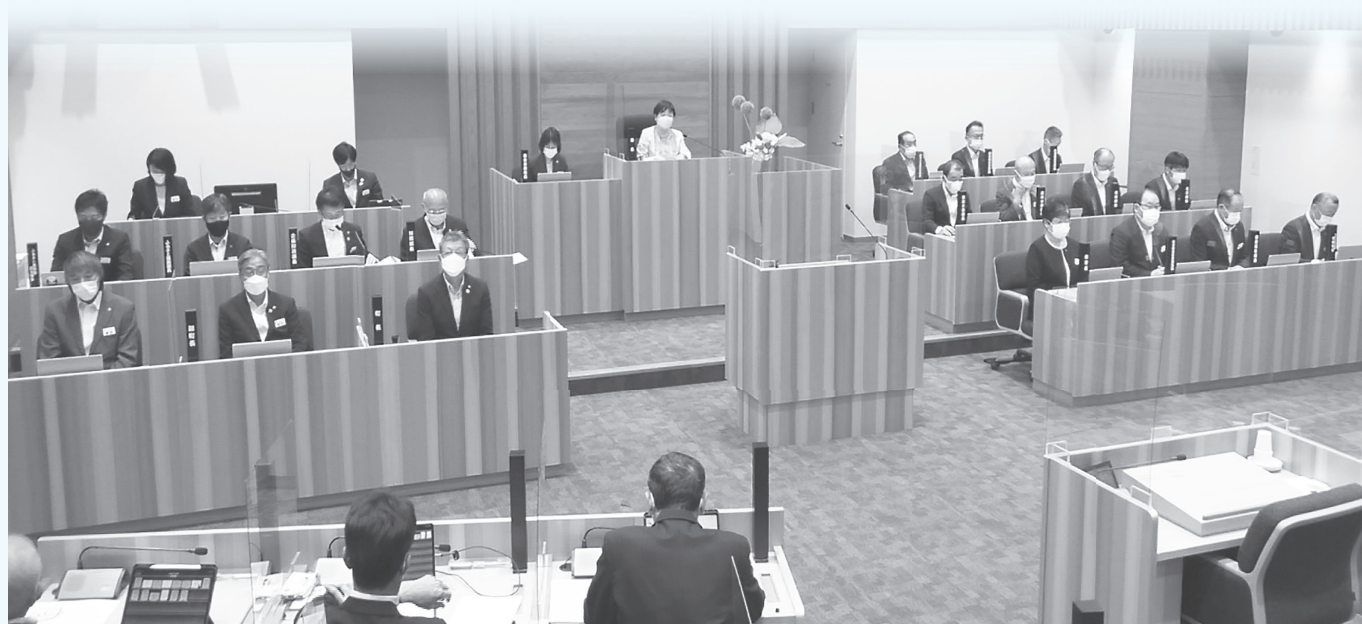
健康者は18歳まで、障害のある方は20歳までである。町が担当する部分と、県が担当する部分があり、児童扶養手当を受給している世帯は県が担当する。申請が必要な方は町が受付し、県へ書類を送る。児童手当、特別児童扶養手当を受給している世帯は町が担当する。

閻 馬場 等 議員

参議院議員通常選挙でポスター掲示場の区画数の追加とは

閻 総務課長

掲示場の数ではなく、ポスターを貼る掲示板の区画が6つから8つになるためである。



総務産業 建設委員会

小路政敏（委員長）
堂前利昭（副委員長）
田端雄市 國盛孝昭
酒元法子 河田信彰
志幸松栄

交通安全対策事業とは、通学路の点検によって町が要望することで県が予算化することになるのか、また毎年、予算があるのか。

交通安全対策事業とは、通学路の点検によって町が要望することで県が予算化することになるのか、また毎年、予算があるのか。

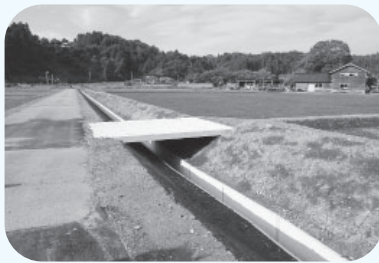
保育所の児童や小学生が通学する歩道などに、車が飛び込んできて亡くなるケースが全国的にここ近年続いている。国の交付金の中でこのような事業は継続的にあるが、交通安全対策事業という補助事業に要望しているもの。国道、県道、市町村道の道路管理者、警察

や学校と合同の点検を行い、危険個所の提案を受け次年度の補助事業に要望を行っている。交通安全に特化した補助事業ということで補助率は交付金よりも少し高い。優先的に補助事業の対象になるということから、毎年度このような合同安全点検を実施している。

制限付き一般競争入札の運用は。

制限付き一般競争入札とは、総合点数や完成工事高等に一定の基準を設け、その基準を満たす者が参加申請できる入札である。

ほ場整備における字の区域及び名称の変更について説明せよ。



ほ場整備

今回、編入される区域は、斉和、中斉、神和住寺分、五郎左工門分、上町地区の、ほ場整備の対象となった字であり、それぞれ斉和、寺分、五郎左工門分の新たな字に編入されることになる。換地するまでには、地区にはほ場整備を行うための地区協議会を必ず設立しなければならない。その協議会は、地権者で構成され、綿密な話し合いがされ、場所が決まるという流れである。

教育厚生 委員会

市濱 等（委員長）
吉田義法（副委員長）
馬場 等 金七祐太郎
向峠茂人 宮田勝三
鍛冶谷員一

トキの放鳥の候補地決定は8月頃と聞く。能登地域になる可能性はあるのか。どこの自治体で放鳥するのか。

国内では石川県能登地域、島根県出雲市、新潟県長岡市が手を挙げると予想されたが、県の確認では現時点で石川県のみが手を挙げているとのこと。放鳥されれば能登地域全体での対応となるが、環境整備等の条件も示されておらず、どこの自治体で放鳥するかは未定である。

ICT活用指導力強化事業のモデル校3校はどこか。

宇出津小、松波小、能都中の3校である。

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金対象者について説明せよ。

この事業は県の事業と町の事業の2つに分かれる。県の担当分は、令和4年4月分の児童扶養手当の受給者が対象である。

猿鬼大会の日程は決定したのか。

令和4年9月25日に決定した。



猿鬼歩こう走ろう健康大会の様子

4月から6月の主な議会活動

4月6日 議会運営委員会

4月18日 議会運営委員会・全員協議会・

第3回能登町議会4月会議・広報編集特別委員会

4月27日 石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式

(KKRホテル金沢)

5月9日 姉妹都市表敬訪問

(長野県信濃町・千葉県流山市11日まで)

5月13日 議会運営委員会

能登地区町議会連絡会総会(宝達志水町)

5月27日 議会運営委員会

全国町村議会議長・副議長研修会(東京都31日まで)

6月2日 奥能登市町議会議長連絡協議会定期総会(輪島市)

6月3日 議員全員協議会

6月6日 第4回能登町議会6月定例会議(議案上程)

6月7日 総務産業建設常任委員会

6月8日 教育厚生常任委員会

6月14日 第4回能登町議会6月定例会議(一般質問)

6月16日 第4回能登町議会6月定例会議(採決)・

議会運営委員会

総務産業建設常任委員会視察研修

(長崎県長崎市)(21日まで)

令和4年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名	吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
04/04/06	議会運営委員会		一	一	一	○	○	○	○	○	オ	一	一	一	○	一
04/04/18	議会運営委員会		一	一	一	○	○	○	○	○	オ	一	一	一	○	一
04/04/18	議員全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/04/18	4月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/04/18	広報編集特別委員会		○	○	○	一	一	一	一	一	○	○	一	一	一	○
04/05/13	議会運営委員会		一	一	一	○	○	○	○	○	オ	一	一	一	○	一
04/05/27	議会運営委員会		一	一	一	○	○	○	○	○	オ	一	一	一	○	一
04/06/03	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/06/06	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/06/07	総務産業建設常任委員会		一	○	一	○	一	○	一	○	○	○	一	○	一	一
04/06/08	教育厚生常任委員会		○	一	○	一	○	一	○	一	一	一	○	一	○	○
04/06/14	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/06/16	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/06/16	議会運営委員会		一	一	一	○	○	○	○	○	オ	一	一	一	○	一

まちかど

インタビュー

今回のまちかどインタビューは、美容室「フ・ファム」のオーナーの森下理佳さんです。

（インタビュー）

馬場 等

◆お店の歴史についてお聞かせください。

昭和63年に妹（西原小織さん）と2人で、美容室と着付けを中心に、旧



左から釣谷稀さん、森下理佳さん、西原小織さん

技術もお店も
リニューアルオープン!!

鶴川小学校近くの国道沿いに開業しました。地域の人に喜んでいただけるお店を目指しました。

開業から35年、今年の1月に金沢の美容室で6年間働いていた娘（釣谷稀さん）が能登で一緒に仕事がしたいと帰ってきました。これを機に3人体制で、旧店舗から200メートル程離れた国道沿いに移転し、5月26日にリニューアルオープンしました。



新しい店舗外観

◆お店のセールスポイントはなんですか

娘が加わったことにより、地元能登でも金沢レベルの技術を提供できるようになったことです。

特に娘は、デザインカラーを得意とし、新しいヘッドスパのできるシャンプー台の導入により、ヘッドスパ、トリートメントなどの新しい技術も提供できます。

また、最近の傾向として、成人式や婚礼の前撮りが増えています。撮影、衣装などの専門のお店とともに、ヘアメイク、着付けなどを提供させて頂

いています。（着付けに関しては、オーナーが上級着付け師の免許を持っています。）

◆最後に一言お願いします。

（娘さん）

能登の人達にもっと、おしゃれを楽しんで欲しいです。

そのために、これからも技術向上を目指し、その人その人の個性を生かせるヘアデザインを提供していきたいと思っています。

（オーナー）

今まで美容室を続けてこられたことに感謝しています。これからは3人で、地域に恩返しすることを一番に考え、誰でも入りやすく、居心地の良いお店を目指したいと思います。



店内の様子

次の定例会議は9月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。傍聴にお越しの際は、マスクの着用、手指の消毒等、感染症対策にご協力をお願いします。

編集後記

私にとって、美容室は縁のない所と思っていました。ところが、インタビューを進めるにつれて、客層が0歳から97歳までと幅広いことや、年齢を問わず、男性客も多いと聞き驚きました。私も1回くらいは行ってみてもと、思えるようになりました。（笑）

娘さんが帰ってきたことにより、地域に新たなカラーが加わることを期待します。

（委員 馬場 等）

広報編集
特別委員会

委員長 鍛冶谷眞一
副委員長 堂前 利昭
委員 吉田 義法
馬場 等
酒元 法子
河田 信彰